

看護学部／看護学科	職名	教授	氏名	波止 千恵
-----------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

看護師として、脳外科、外科病棟、循環器病棟での臨床経験後教員となり、その後3年間在宅介護支援センターの管理者として地域福祉、高齢者福祉に携わる。

熊本大学大学院 保健学教育部保健学専攻博士後期課程単位取得後退学

主な研究分野は訪問看護師の実践能力向上に関する研究

在宅酸素療法が必要な慢性閉塞性肺疾患（Chronic Obstructive Pulmonary Disease :COPD）患者が急性増悪を起こさず在宅療養を継続するための訪問看護の効果について研究しています。訪問する看護師の方が呼吸器疾患の療養者や家族の方に質の高い看護が提供できるための支援を目指しています。

2022（令和4）年度の看護基礎教育カリキュラム改正で、在宅看護論が「地域・在宅看護論」と名称変更されました。本学では1年次から段階的に「地域・在宅看護実習」を行い、看護師が病院だけでなく、地域の多様な場で活動し地域で暮らす人々の健康と暮らしを守る看護師の役割や活動について学び実践できることを目指しています。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- 波止千恵,前田ひとみ（2020）. 在宅酸素療法を行っている COPD 患者の外来看護介入の効果 個別指導と訪問指導の比較, 日本呼吸ケアリハビリテーション学会誌,29（2） p 276-281.

②その他最近の業績

<学会発表>

- A study of the nutritional status of older people living in hilly and mountainous areas and attending exercise classes.
Junko hiratsuka, Takashi igari, Chie namitomi. The 16 th EAFONS 2023.Tokyo.

③過去の主要業績

- 山崎律子、波止千恵、他（2017）. 医療機器を使用した在宅看護論演習の成果～酸素濃縮器と人工呼吸器を使用した体験型演習での学びを通して～純真学園大学雑誌号7号 p55－62
- 長弘千恵、前野有佳里、波止千恵、Bevan宏美（2010）. 日本介護保険の現状と課題-介護予防の視点から-, Korean Journal of Research in Gerontology (韓国老年学研究)、vol19、37-50.

3. 外部研究資金

4. 受賞

5. 所属学会

日本看護科学学会会員、日本看護研究学会会員、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会会員、
日本地域看護学会会員、日本看護学教育学会会員

6. 担当授業科目

〈学部〉

暮らしを知る実習・1単位・1年・後期、暮らしと保健福祉・看護1単位1年・後期、チーム
医療論・1単位・1年後期、在宅看護学概論・1単位・2年・前期、在宅看護学・2年・後期・2
単位、チーム医療論・1単位・2年後期、在宅看護学演習Ⅰ・3年前期・1単位、在宅看護学演
習Ⅱ・3年後期・1単位、在宅看護学実習・3年・後期・2単位、専門看護学ゼミ・2単位・3
年次・通年、卒業研究・2単位・4年次・通年

〈大学院〉

在宅看護学特論・2単位・1年次、在宅看護学演習・2単位・1年次

7. 社会貢献活動

- ・福岡県保健医療介護部高齢者地域包括ケア推進課事業：「アドバンス・ケア・プランニング」
及び「在宅看取り」に関するパンフレット等の作成検討会メンバー
- ・ケアカフェ田川（在宅医療多職種研修会：田川市と共同開催）：年間3回

8. 学外講義・講演

9. 附属研究所の活動等